

## このままでは学校がもたない！ 子どもたちの成長や発達が保障され、 せんせいがいきいきと働くことができる学校を！

「教育に穴があく」  
 実態は深刻です

ゆきとどいた  
 教育をすすめる運動

生活と権利を守り  
 前進させる運動

2学期が始まって1か月が経過しました。「子どもたちと一緒に楽しい学校生活をつくっていきましょう」という先生たちの気持ちとは裏腹に、次のような相談が相次いでいます。

- ・ 夏休みの終わりから病休者が出ていて、また代替者が配置されていない。
- ・ 今年の新採用の先生が辞職した。
- ・ 空き授業をカバーするための校長の授業時数が多くなっていて、学校運営が回らなくなっている。
- ・ コロナの再拡大で次々と先生が休んでいて、授業が回せない。
- ・ 産休に入った先生がいるのだが、まだ代替者が配置されていない。
- ・ 病休代替者が配置されず、中学校再任用短時間勤務なのに週19時間の授業を持つている。

こうした実態は、特定の学校だけではなく広範に見られることも明らかになっています。

**2023 みんなが安心して過ごせる学校に!**  
 教育全国署名にご協力ください

**全国から届いた、各地での前進!**

- 市区町村単位ですすむ給食無償化
- 特別教室へのエアコン設置
- 体育館へのエアコン設置
- 多目的トイレの設置
- 特別支援学校の新設、教室の増築
- 私立学校の施設整備のための予算拡充

**先生がいると安心**

文科省が昨年発表した「教員不足」調査では、小・中学校、高校、特別支援学校で、教員の未配置がおきていることが明らかになりました。今年度も年度初めから次員が各地で生じています。子どもたちの安心のためにも、教職員の確保が急務です。

**OECD平均4.1%まで教育予算を増やすと幼稚園から大学まで教育無償化(約4兆円)、30人学級・教職員定数改善・給付奨学金拡充(約2兆円)が実現可能です。**

**公財政教育支出の対GDP比(2019年)**

国	対GDP比 (%)
日本	4.1
韓国	4.5
台湾	4.8
香港	5.2
シンガポール	5.5
オーストラリア	5.8
ニュージーランド	6.2
フィンランド	6.5
スウェーデン	6.8
デンマーク	7.2
ノルウェー	7.5
アイスランド	8.0

その差約7兆円 (2.8%)

**ゆきとどいた教育をすすめる会**  
 〒102-0084 東京都千代田区二番町12-1 全国教育文化会館3階  
 TEL: 03-5211-0123 FAX: 03-5211-0124  
 全教/全国私教連/教組共闘連結会/全国私学父母連-私学助成をすすめる会連結会/全国各地のすすめる会

「ゆきとどいた教育をすすめる運動」は、私たちの賃金や権利を守り、前進させる運動を職場からすすめます。県からの人事委員会勧告が、10月初めには出されます。

全教広島は、2回にわたって広島県人事委員会への懇談・要請に取り組みました。10月からは「賃金待遇改善署名」に取り組みます。今年度は団体署名に変更します。すべての学校・分会から声を集めましょう

私たちはの賃金や権利を守り、前進させる運動を職場からすすめます。県からの人事委員会勧告が、10月初めには出されます。

全教広島は、2回にわたって広島県人事委員会への懇談・要請に取り組みました。10月からは「賃金待遇改善署名」に取り組みます。今年度は団体署名に変更します。すべての学校・分会から声を集めましょう

今年は、関東大震災から100年になる。今、学校教育でも防災教育が一つのカリキュラムとして確立してきた。先日、映画「福田村事件」を観た。これは、100年前の9月6日に現在の千葉県野田市であった本場の出来事だ。関東大震災の時、朝鮮人、中国人、社会主義者ら約6000人以上が虐殺された歴史をご存じだろうか。教科書には、コラムにわずか一行しか記述がなく、どれだけ授業で扱われているのだろう。なぜこのような惨劇が起こったのか？映画は、当時の日本が「戦争をする国」であり、人権が抑圧された社会の中で起こった「事件」として描写されている。今は、人権も民主主義もあるし、二度とこのようなことは起こるはずもないと思いたいが、虐殺はなかったとするヘイトスピーチやクライムが頻発する中、戦争する国へ突き進んでいるこの国が、その愚行を繰り返さないという保証はない。私たちは負の歴史を直視し、歴史から学ぶことではないかと思う。

(E)

# 海田支部教研にのべて60名参加! 全教の値打ち、今こそ発揮して

9月2日、2年ぶりに対面で「支部教研」を開催し、1部、2部合わせてのべ60名が参加し参加者は最高年齢91歳から最年少は30代でした。

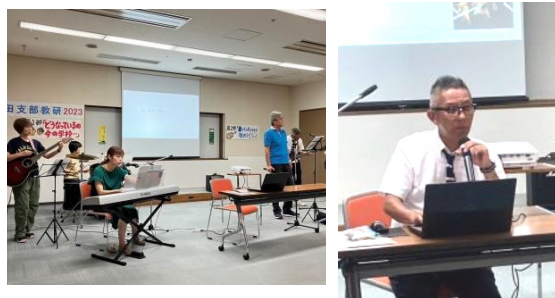
今回は、「どうなっているの?今の学校」と題した1部、「秦バンドと全教を語ろう」という2部構成でした。1部には全教以外の参加を呼びかけたところ呉退教から10名の参加がありました。大先輩にあたる皆さんの参加で、現場の私たちは大いに励まされました。



1部は、「このままでは学校が持ちません」という問題提起を受けて、リアルな現場の声を、学校、子育て支援の現場からの報告と参加者からの発言で明らかにしました。

その結果、教員が長時間労働に苦しんでいる様子や原因についても、認識が深まりました。議論を深めるには時間が足りませんでしたが、退教と同じテーブルで話し合ったことの意義は大きいと思います。子どもたちと教員の危機を救う運動を広範な人々と展開していく最初の一步にしたいと思います。

2部は、全教広島で組拡の先頭で奮闘し「秦バンド」でも活動されている秦先生をお招きしての、お話とバンド演奏でした。パワフルな音楽で始まったお話は、秦先生の全教への限らない確信が感じられ、私たちにもその熱量が伝わりまし



た。全教の値打ち、自分がなぜ全教に加入したのか、そしてここまですべて全教組合員としてどう生きてきたかを語っていただき、聞いている私たちも自身の組合員としてのアイデンティティを呼び起こされました。全教組合員が職場で1人であつても果たしている役割は宝の存在であることも確信を持ってました。シャウトする歌に身体は熱くなり心には明日への元氣と勇氣が沸いてくるような集会となりました。

## 福山支部教研

## 一人ひとりに寄り添って



全教福山は2日(土)、石川喜久子さん(霞小分会)を招いて『個別の事例検討会』を開催し、10人が参加しました。参加者から「授業中におしゃべりが止まらない子」「ずっとタブレットに集中して授業に参加しない子」「中学生なのに小学校の学力が身につけていない子」などの「困り感」を出し合って、どう指導するかを学びました。石川さんは「すべての子に一律に指導しても難しいし、漢字などを“繰り返し”ば覚えられない”はウソ”とし、計算の仕方や漢字の覚え方などの指導を具体的に説明され、さらに、子どもの姿勢(背筋ピン)や遊びの重要性など、人として発

達する上での大切な条件も説明されました。その上で、子どもの実態とその原因を科学的に分析することや、先生と子どもたちの関係と同様に子ども同士の関係性をつくることも大切だということを強調されました。最後に「人ひとりに寄り添って、その子が納得する方法で指導していかたいですね」とまとめられました。

明日からの実践にすぐにかされる充実した学習会でした。



椋 大樹弁護士 による憲法各集会  
10月14日(土) 13時~  
広島ロードビル(オンライン併用)



# 県教委・県知事・議会与党の「幕引き」は許さない 8/29 第1回口頭弁論 県教委「官製談合」をただす住民訴訟



県教委にかけられている官製談合疑惑など歪んだ教育行政をただし、法外な調査費用・使い放題のタクシー代金など税金の無駄遣いの是正を求める裁判が始まりました。この間の運動に取り組んできた「市民の会」のメンバー8人を原告とする住民訴訟です。第1回口頭弁論は、8月29日（火）に行われ、原告団を代表して望月照巳原告団長、弁護士を代表して山田延廣弁護士・坂本慶太弁護士がそれぞれ意見陳述を行いました。望月

団長は、県内の教職員が「教育関係職員倫理要綱」に基づく研修を徹底され、「公務に対する県民の信頼を確保すること」が口酸っぱく強調されている実態と明らかにこれに反する平川理恵教育長のタクシー代金使用問題などを厳しく指摘し、「このお金は、平川教育長の個人のもので、教育委員会のものでなく、私たち県民の税金から出されたものです」と強調しました。

2人の弁護士からは、この住民訴訟の意義、法的な側面が陳述されました。山田弁護士は、「本件事件の何が問題なのか、どうして私たち代理人がこの事件を受任したのか」と問いかけ、「依頼者の主張に共感を持ち、依頼者の言い分につき、勝訴させないと社会の正義や秩序が破壊されてしまう」と強調しました。

第2回裁判は12月5日に開催されます。

## 2023年度 市教委交渉

## 「働き方改革」、人員増なしで現場に工夫を求めな!



9月13日(水)に今年度の市教委交渉が行われました。市教委からは川口学校教育部長以下、8名の課長が出席しました。また、市教組(全教)からは多忙な中、22名が駆け付けました。

「新任教諭 増える退職」というニュースに驚いている。今の教育の危機的状況を中教審が分析し、緊急提言が出された。多忙化の原因は、「子どもの困難が

多様化・複雑化していること」「学校に対する期待の現れ」の2点とされているが、その解消に向けては業務の効率化・省力化が語られ、これには非常に残念だった。今の教育の危機を救うためには、子どもの多様化に寄り添える人員確保。学校への期待に応えるための人員確保しかない。厳しい財政状況と言われるが、今の危機的状態を救うための財源確保は行政の役割。ぜひ現場の声を受け、施策につなげてもらいたい。

と藤中執行委員長は訴えました。現場は限界、人をしっかりと配置すべき」と要請しました。

## 教育のつどいヒロシマ2023

【11月18日(土)】

10:00~12:30	13:30~16:00	17:30~19:30
問題別分科会	教科別分科会	記念講演
広島市・尾長小学校		広島ロードビル・大会議室 & オンライン

みんなでレポート（A4版一枚）をもって参加しましょう。

記念講演は平井美津子さん（大阪・公立中学校教諭）です！

【演題】子どもたちとともにヒロシマの教室から紡ぎだす平和と民主主義

# 緊急出版「私たちの広島サミット」

破綻した核抑止論に、私たちの未来を託せるのか！

G7広島サミットは本当に「成功」だったのか。その賛否に揺れたヒロシマは、あの熱狂をどう捉えたか。被爆地としての視座を示す、必読の1冊。被爆者や若者、平和を願う市民31人の声を集約し、緊急出版！サーロー節子さん（カナダ在住広島被爆者）、川崎哲さん（核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）国際運営委員）も寄稿！

「G7サミットに被爆地の声を」この願いで新たなつながりや共同がひろがりました。それは、必ず「核兵器廃絶」へ向けての大きな財産になると確信しています。その営みの一つの結実が本書の出版につながりました。  
 （はじめに より）  
 全教広島からも藤中茂さん、寺本透さん、神部泰さんが執筆しています。全教OBも3人が執筆に名を連ねています。一冊1500円です。ぜひ、手に取ってお読みください。



お申込みは、全教広島または各支部へ

## 「キット いいことあるよ♡キャンペーン」

2023年10月～12月限定！

共済加入者・紹介者全員に

キットカット 25コプレゼント！

期間中の加入者・紹介者20名の方に

プリンスホテル 豪華ランチツアー

キャンペーン期限：2023.12.31 まで

全教共済は利益を追求しない「教職員のたすけあい」の共済です。教職員の手によってつくられた教職員のための共済です。

対象者：学校にお勤めのかたならどなたでも

（事務職員・養護教諭・栄養職員・現業員など、正規・非正規を問いません）

**総合共済**

掛け捨てではありません！

月600円の掛金で退職まで様々な給付があり、退職時にはそれまでの掛金総額相当が給付されます！（それまでの給付金は差し引かれません）

今ならもらえる♪♪  
 総合共済加入者＆紹介者にもれなく  
**キットカット 25コプレゼント！**

こんな給付があります！

結婚 1万円 (事実婚・同性婚も！)	出産 1名につき5千円 (パパももらえます)	自然災害見舞金 最大10万円
●独身のかた 2万円 (加入期間10年以上かつ40歳以上の独身)	●病気療養 1万円	●親死亡 1万円
●結婚記念日 1万円 (15・25・35周年のいずれか1回)	●火災見舞金 最大10万円	●配偶者死亡 3万円
	●本人死亡 10万円	●こども死亡 2万円

3・4年続く安心の共済

1989年から36年、たくさんの方へ給付してきました。  
 広島県の教職員の約1,300人が加入しています！

加入申し込みは裏面から！